

## カシノナガキクイムシの対策を行いました

令和4年2月25日

南会津地域ではナラやブナ等の広葉樹を枯らせてしまう「ナラ枯れ」の被害が発生していることから、ナラ枯れの原因である細菌を媒介する、カシノナガキクイムシの対策を行っています。

令和3年度は3つの対策を行いました。

1つ目は予め薬剤を樹木に注入して被害を未然に防ぐ、予防接種のような防除対策です。景勝地である下郷町の塔のへつり地区と、只見町の奥会津ただみの森キャンプ場で実施しました。

2つ目は、丸太に誘引剤を塗布して誘い出したカシノナガキクイムシを駆除する「おとり丸太」による誘引捕殺です。只見町内と下郷町内で設置しました。多いところでは丸太1m<sup>3</sup>当たり約14千個体(推定)が誘引され、被害の軽減が図られました。

3つ目は、ナラ枯れ被害木に粘着テープを巻き付けカシノナガキクイムシが樹幹内から脱出する際に捕殺する方法で、南会津町内で実施しました。

広大な山林に散在するナラ枯れの被害を根絶することは困難ですが、保全すべき箇所には「樹幹注入」、被害の拡大を防止する箇所には「おとり丸太による誘引」及び「粘着テープによる駆除」と対策にメリハリを付けることで、今後も被害対策に取り組んでまいります。



おとり丸太による誘引効果の調査